



# 日新小だより



みんな ニコニコ 日新の子



4月17日に実施した「全国学力・学習状況調査（6年）」と「苫小牧市統一学力検査（3・4・5・6年）」の結果がまとまりました。該当学年の保護者の皆様にはすでにお知らせしておりますが、今回は、全家庭にお知らせします。

## 平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果について

### 1 教科（国語・算数）に関する結果

#### 国語A（主に知識に関すること）

- ・国語Aにおいては、平均正答率が全国平均を下回っている。
- ・国語Aの正答数の分布では、全国平均に比べ、上位層が薄く、下位層が厚い傾向が見られる。
- ・「漢字を正しく使う」「登場人物の心情について、情景描写を基に捉える」設問において、平均正答率が全国平均を下回っている。

#### 国語B（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力など）

- ・国語Bにおいては、平均正答率が全国平均を下回っている。
- ・国語Bの正答数の分布では、上位層が薄く、下位層が厚い傾向が見られる。
- ・「目的に応じて複数の本や文章などを選んで読む」設問において、無回答率が低く、平均正答率が全国平均を上回っている。
- ・国語Bでは、記述する問題において無解答率が全国平均よりも高いが、正答率は全国平均とほぼ同等である。

#### 算数A（主に知識に関すること）

- ・算数Aにおいては、平均正答率が全国平均を下回っている。
- ・算数Aの正答数の分布では、全国平均に比べ、中位層はほぼ全国平均と同等であるが、上位層が薄く、下位層が厚い傾向が見られる。
- ・図形の設問は、平均正答率が全国平均を大きく下回っている。

#### 算数B（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力など）

- ・算数Bにおいては、平均正答率が全国平均を下回っている。
- ・算数Bの正答数の分布では、全国平均に比べ、中位層と上位層が薄く、下位層が厚い傾向が見られる。
- ・算数Bの全ての設問において、無回答率が高い。

#### 理科

- ・平均正答率が全国平均を下回っている。
- ・正答数の分布では、全国平均に比べ、上位層は薄いですが、中位層、下位層は全国平均とそれほど変わらない。
- ・「観察・実験の技能」に関する設問において、平均正答率が全国平均を下回っている。

### 2 児童質問紙に関する結果

#### 学校生活

- ・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思うか」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うか」に「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と答えた児童の割合が全国平均に比べて高い。

#### 家庭生活

- ・家庭学習については「計画的に行う」「予習・復習をする」割合が全国に比べて高く、「1時間以上学習する」割合は全国とほぼ同等である。

# 平成30年度 苫小牧市統一学力検査等の結果について

## 国語

## 算数

3年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」「言語事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」とも全国平均と同程度である。</li> <li>説明文の読み取りに関する問題の正答率は、全国値と比べてやや下回っているが、他の問題においては、全国平均と同程度である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「数と計算」「図形」「量と測定」とも、全国平均と同程度である。</li> <li>1000までの数の問題の正答率は、全国平均と比べてやや下回っているが、他の問題については、全国平均と同程度である。</li> </ul>
4年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>「話すこと・聞くこと」は全国平均と同程度であるが、「読むこと」「書くこと」は全国平均をやや下回り、「言語自校」は全国平均を下回っている。</li> <li>漢字を読むことは全国平均と同等であるが、漢字を書く問題では全国と比べて正答率が低くなっている。また、ローマ字を読む問題や自分の考えをもち、表現する問題では、全国と比べて正答率がかなり低くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>領域別では、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」とも全国平均を下回っている。</li> <li>数直線を読む問題や小数で計算する問題で全国と比べて正答率が低くなっている。文章題を、口を使った式で表す問題やグラフを読み取ったりグラフで表したりする問題で全国平均と比べて正答率が低くなっている。</li> </ul>
5年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>「話すこと・聞くこと」「言語事項」「読むこと」は全国平均と同程度、「書くこと」は全国平均をやや下回っている。</li> <li>昨年度（平成29年度4年生の時）と比較すると、「書くこと」は全国平均から離れてしまったが、「話すこと・聞くこと」「言語事項」「読むこと」は昨年度と同程度である</li> <li>作文に関しての問題で全国平均と比べて正答率が低くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「数と計算」「数量関係」は全国平均と同程度、「図形」は全国平均よりやや下回っており、「量と測定」では、全国平均を下回っている。</li> <li>昨年度（平成29年度4年生の時）と比較すると、「数と計算」「量と測定」「図形」は全国平均と同程度で、「数量関係」は全国平均に近づいた。</li> <li>角の大きさや垂直、平行に関する問題等で全国平均と比べて正答率が低くなっている。</li> </ul>
6年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>「言語事項」「読むこと」は全国平均をやや下回り、「話すこと・聞くこと」「書くこと」は全国平均を下回っている。</li> <li>昨年度（平成29年度5年生の時）と比較すると、「話すこと・聞くこと」「書くこと」は全国平均から離れてしまったが、「読むこと」は同程度で、「言語事項」は全国平均に近づいている。</li> <li>自分の考えを書くことや漢字を書く問題で全国平均と比べて正答率が低くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「数と計算」「数量関係」「図形」「量と測定」とも全国平均をやや下回っている。</li> <li>昨年度（平成29年度5年生の時）と比較すると、「図形」「数量関係」は同程度で、「数と計算」「量と測定」は全国平均に近づいた。</li> <li>図形の角や立体の問題等で全国平均と比べて正答率が低くなっている。</li> </ul>

## 学力向上のための取組について

### ○基礎・基本的な学力の向上に向けて

基礎・基本的な学力の定着は、本校の重要な課題であり、一人一人に学習のねらいを意識させ、どのように解決すれば良いかの見通しをもたせるなどの授業改善に、より一層力を入れていきます。いくつかの学年では、算数科において少人数指導で、一人一人に応じた指導をできるだけ行います。

冬休みには、3日間、2年生以上の希望者を対象に補充的な学習を行います。

授業だけではなく、学習する習慣を定着させるために「家庭学習の時間」を増やす取組を行っています。ご家庭でも学習したことの確認などご協力をお願いします。

### ○読書の取組について

本校では、毎朝10分間の読書を全校で行い、読書に親しむことや集中してものごとに取り組むことに力を入れています。また、自分の考えを文に表すことなどを苦手としている子どもも多く、たくさんの文章に親しむことが大切だと考えています。ご家庭でも家族で本を読む時間を作る（テレビなどを消す）などに取り組んでいただきたいと思います。

### ○給食時間を利用した補充的な学習について

2～4年生には、給食準備時間を活用して、かけ算九九などの基礎的な計算力を補充する学習を担任外教員が行っています。